

施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	5	生涯学習
5年後の まちの姿	<p>○あらゆる年代の市民が芸術に触れ、学ぶ意欲を満ち、学んだことを生かしたり、発表したりすることができる場があるまちなっています。</p> <p>○こうした活動を通じて、生きがいや多世代とのつながりを持ち、豊かな人生を送る市民が増えています。</p>	
施策展開の 基本的な考え方	<p>行政は、芸術に触れる機会や活動場所の確保、団体間の交流の促進、情報提供等の支援によって、市民が生涯学習活動に取り組みやすい環境づくりと自主的な活動の支援を行います。</p> <p>市民等は、芸術鑑賞や芸術活動を含めた多様な学習機会への積極的な参加や企画・運営への参画を通じて自ら学び、交流するよう努めます。</p>	
実現に向けた 取組	<p>①市民が参加しやすい多様な学習機会の提供</p> <p>②市民による自主的な活動の育成・支援</p> <p>③活動拠点の整備</p>	
施策担当課	生涯学習課	
施策関係課・係	-	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	534,842	198,230	190,637		
事務事業数	16	16	16		
うち、事務事業評価対象	15	15	15		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数〔年間〕	回	79	108	167	60			141
生涯学習に関するイベント・市民講座参加者数〔年間〕	人	8,629	4,646	22,502	8,574			24,700
月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数〔年間〕	団体	70	66	69	58			70
成果指標による 現状分析	<p>生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数〔年間〕については、令和5年度から大幅に下がるという結果となった。これまでの実績の積上げが適切であったか、また、目標設定が現在の社会情勢に照らして適切であるか等については今後十分に精査した上で事業推進を図っていく必要がある。</p> <p>生涯学習に関するイベント・市民講座参加者数〔年間〕については、令和5年度から大幅に下がるという結果となった。これまでの実績の積上げが適切であったか、また、目標設定が現在の社会情勢に照らして適切であるか等については今後十分に精査した上で事業推進を図っていく必要がある。</p> <p>月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数〔年間〕については、各団体の高齢化等により解散する団体等があることにより思うように伸びていない状況にある。</p>							

3 施策の進捗状況

達成度	× 遅れている
評価の理由	◇ニーズの変化に加え、一部の団体では高齢化等により活動が停滞していることが原因となり年度目標に対する達成度が低くなっていると分析している。引き続き多様なニーズを捉えた講座の実施をはじめ、市民が生涯学習活動に取り組みやすい環境づくりと自主的な活動の支援を行うことで目標達成に向けて努めていく必要がある。

4 取組の状況と今後の方向性

① 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や美術等の芸術に触れる機会を確保するとともに、イベントや市民講座を継続して開催します。 ・専門知識や特技を持った市民、学校、市内の企業やNPO等の団体と連携し、文化財、高齢福祉等各種分野の取組を巻き込んで、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図ります。 ・イベントや市民講座は、できるだけボランティア等の地域の協力者を巻き込んで実施し、そのボランティアをきっかけに生涯学習活動に参加する人が増えるよう努めます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◇公民館や図書館等の社会教育施設を主な会場として、多くの市民が参加できるよう、生涯学習フェスティバルや美術展、陶芸教室等、多様なイベントや講座を開催し、生涯学習の場と機会を提供してきた。 ◇高齢者大学や教室等で専門知識のある方を招いて指導を依頼している。生涯学習フェスティバルでは文化団体のほかにも社会活動団体なども参加している。また、一部イベントでは手話を導入して参加者の拡大を図っている。 ◇市内在住の外国人を対象とした日本語教室は、ボランティア主導により運営されている。また、ボランティアを対象にした研修会も開催している。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◇多くの方に参加してもらうためには、魅力あるイベントや講座を企画することが必要となる。周知の方法も市報に加え SNS の活用など、対象となる世代に合わせた方法を引き続き駆使していくことが必要である。 ◇協働が可能な個人や団体等と関わる機会が少ないように思われる。事業目的のために協力していただける場合は積極的に働きかける必要がある。 ◇引き続きボランティアを主体に開催されているが、ボランティアから研修会の要望があるため、それに応えていく必要がある。

② 市民による自主的な活動の育成・支援

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの知識や特技を生かして市民講座を開きたい人、市民講座後も自主的に学習を継続したい人、地域で作品展を開きたい人等活動したい人を募って活動場所の紹介、仲間集めの助言、広報の手伝い等の支援を行います。 ・活動の目標ともなる成果発表の場や他団体とノウハウを共有する機会となる場を設ける等、生涯学習団体が活動を続けやすい環境を整備します。 ・市民による様々な活動や講師等の情報をデータベース化し、市民が気になる活動を見つけ、参加しやすい環境を整えるとともに、市民の参加や活動団体同士の交流を促すコーディネーターを配置して、ある時は参加者が主催者や講師となり、またある時は講師が運営を支える裏方となるような循環型の生涯学習社会の実現を目指します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◇要望があれば対応することとしているが、実績となるような例はなかった。 ◇毎年11月を生涯学習強調月間として、産業文化会館をメイン会場に開催している生涯学習フェスティバルでは、日頃の活動の発表の場として多くの団体が出展している。また、出展者同士や来場者との交流の場にもなっている。 ◇学校支援人材バンクとして生涯学習関係団体等を網羅したリストがあるので、必要に応じて活用する。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◇意欲のある人を支援できるよう対応する。 ◇多くの団体が高齢化等の問題を抱えており何らかの支援が必要となっているが、具体的で効果的な解決策を見出していく必要がある。

◇学校支援人材バンクの作成から数年が経過しているため、更新が必要である。

③ 活動拠点の整備

施策の内容
・生涯学習をはじめとする市民活動の拠点にふさわしい機能を確保するため、施設の老朽化対策の中で施設内容を充実させる建て替えや改築、相乗効果を生み出す施設の集約化も考慮しながら適正配置等を検討します。
これまでの主な取組と実績
◇新たな複合的生涯学習施設の建設を目指して準備を進めている。建設に当たっては民間資本の導入（PFI/PPP方式）等も検討してきたが、諸般の事情により従来方式を採用することを決定している。
主な課題と今後の対応
◇本施策を予定どおり推進していくに当たり、市民理解を醸成していくことが求められる。

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	◇市民の生涯にわたる学習意欲を啓発し、充実させるため、幅広い世代や属性を対象に生涯学習の場や機会となる多様なイベントや講座等を開催・実施する。また、開催・実施に当たっては意欲ある個人や文化団体等との協働を視野に入れながら事業内容を検討する。なお、文化団体では高齢化等の課題を抱えるところも多く、必要とされる支援を可能な限り行っていくことが必要である。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R6 事業費	R7 当初予算額	達成度	今後の 方向性	担当課
150110	文化活動促進事業	62	73	○	③	生涯学習課
150111	陶芸研修所管理事業	2,898	2,513	△	③	生涯学習課
150112	産業文化会館事業	93,051	57,001	△	③	生涯学習課
150113	鉱物・陶芸館運営事業	7,464	8,532	◎	③	生涯学習課
150114	胎内自然天文館運営事業	13,984	14,924	○	③	生涯学習課
150115	昆虫の森運営事業	11,489	14,310	△	②	生涯学習課
150116	市民講座学級事業	848	1,294	○	③	生涯学習課
150117	図書館管理事業	24,935	27,265	△	③	生涯学習課
150118	環境改善センター管理運営事業	7,632	6,515	◎	③	生涯学習課
150119	一般経費中央公民館	8,978	10,267	○	③	生涯学習課
150120	一般経費黒川地区公民館	10,319	11,449	○	③	生涯学習課
150121	乙地区交流施設管理運営事業	5,828	6,830	◎	③	生涯学習課
150210	社会教育振興事業	499	666	○	③	生涯学習課
150211	公民館文化振興事業	1,672	1,929	◎	③	生涯学習課
150212	生涯学習フェスティバル事業	308	448	×	③	生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150110		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者	
事務事業名	文化活動促進事業		事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	15	生涯学習	予算科目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
				10	文化活動促進事業		04	公民館費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令				
関連例規	法令による義務付け		任意	胎内市教育振興基本計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	冬フェスタin中央公民館や文月コンサートなどの事業を通じて市民に文化活動の場を提供するとともに、参加者同士の交流の場とする。
主な実施内容	・冬フェスタin中央公民館の開催 ・文月コンサートの実施
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	△	○		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	41	64	62	73	
単位コスト	算出方法 参加者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）÷人件費/参加者				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	4,317円	1,375円	215円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数
	目標	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①6講座 ②10団体	①6講座 ②10団体	①6講座 ②10団体
	実績	①5講座 ②0団体	①6講座 ②7団体	①6講座 ②6団体		
成果指標	名称	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数
	目標	500人	500人	300人	300人	300人
	実績	63人	261人	288人		
	目標比	12.6%	52.2%	96%		

6 事業の課題

ニーズが変化してきているという課題がある。しかしながら、本事業の必要性、重要性は不変である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組
成果指標を見直し、本事業の成果の実相の見える化に努め、前掲の今後の方向性につなげていく。

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150111		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	陶芸研修所管理事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習			中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
					小	11	陶芸研修所管理事業		07	陶芸研修所管理費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令					
関連例規	胎内市陶芸研修所条例			胎内市教育振興基本計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	陶芸を通じて、芸術活動に親しんでもらうことを目的に陶芸講座を開催し、参加者同士の交流や親睦をはかる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸講座の実施 ・陶芸作品展の開催 ・陶芸研修所維持管理 ・夏休み期間の親子陶芸教室の実施
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、各種媒体を通じた周知にもかかわらず、参加者数が増加しなかったことが考えられる。ニーズの変化が生じている可能性もある。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	3,102	2,129	2,898	2,513	
単位コスト	算出方法 参加者一人あたり収支 （事業収入 - 総事業費（業務委託料除く）） / 参加者数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	△8,772円	△4,686円	△3,008円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	陶芸講座回数					
	目標	5回	5回	5回	5回	5回
実績	5回	5回	5回			
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数
	目標	180人	180人	180人	180人	190人
	実績	92人	109人	108人		
	目標比	51.1%	60.6%	60%		

6 事業の課題

ニーズが変化してきているという課題がある。しかしながら、本事業の必要性、重要性は不変であり、本施設と指導人材の有効活用を図っていく必要がある。

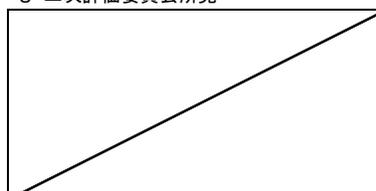
7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組

新規参加者を促すため、チラシやリーフレットを作成し、近隣市町村へのアウトリーチを実施することで、本事業の認知度向上につなげていくとともに、前掲の今後の方向性につなげていく。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③		
	縮小	×	⑥			
	休廃止	⑦				
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150112		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	産業文化会館事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習		予算科目 款 項 目		
主要施策	5	生涯学習			01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供			10	教育費
					12	産業文化会館事業			06	社会教育費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意							
関連例規	胎内市産業文化会館条例			関連計画	胎内市教育振興基本計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民の生涯学習の推進及び文化振興と芸術意識の高揚を図り心を豊かにすることを目的とし、自主事業を実施する。
主な実施内容	・ホール以外の貸館 ・会館維持管理 ・改修工事
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	△		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	433,450	101,753	93,051	57,001	
単位コスト	算出方法 入場者1人あたり運営コスト (総事業費※+人件費)/入場者数 ※工事費・設計費を除く ※令和6年度は人件費を含まない				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	1,673円	718円	819円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	310日	310日	310日	310日	
	実績	272日	320日	304日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	20,000人	20,000人	70,000人	70,000人	
	実績	18,699人	55,744人	53,402人		
	目標比	93.5%	279%	76.28%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150113		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	鉱物・陶芸館運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習		予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習			01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供			06	社会教育費
					13	鉱物・陶芸館運営事業			09	鉱物・陶芸館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令					
関連例規	胎内市粘土・鉱物体験資料館及び陶芸体験館条例			関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	収集した日本と世界の鉱物、粘土とそれに関連した資料の展示と解説のほか、鉱物・粘土の学習指導や天然石を素材にしたアクセサリ作りと陶芸の体験教室を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営管理 常設展の開催 体験教室及び出張教室の実施
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	7,321	7,573	7,464	8,532	
単位コスト	算出方法 ①利用者一人当たりにかかるコスト（総事業費+人件費/利用者数）②利用者一人当たりの収支（事業収入-（総事業費+人件費））/利用者数 ※令和6年度は人件費を含まない				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	2749.7円	①2531.06円 ②-2109.	①2381円②-2019円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	105日	105日	105日	105日	105日
	実績	103日	102日	100日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人
	実績	2,717人	3,057人	3,135人		
	目標比	90.6%	101.9%	104.5%		

6 事業の課題

[Blank area for business challenges]					
--------------------------------------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150114		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者	
事務事業名	胎内自然天文館運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習		予算科目
主要施策	5	生涯学習			01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		
					14	胎内自然天文館運営事業		
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意					
関連例規	胎内市文化教育交流促進施設条例			関連計画	胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	農山村の自然・天体知識及び科学教育の啓発のため、館内の展示案内を行うほか、定期的に天体観察等の教育普及事業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期観望会の開催 ・各種イベントの実施 ・施設管理
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○	○		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
[Blank area for evaluation reasons]					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	21,106	14,321	13,984	14,924	
単位コスト	算出方法 (総事業費※+人件費)/入場者数 ※工事費を除く ※令和6年度は人件費を含まない				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	1,949円	1,708円	1,800円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	200日	200日	200日	200日	200日
	実績	199日	203日	200日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	6,367人	7,249人	7,437人		
	目標比	79.6%	90.6%	92.96%		

6 事業の課題

課題					
[Blank area for business challenges]					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150115		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者		
事務事業名	昆虫の森運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習	予算科目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習			01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
					15	昆虫の森運営事業		11	昆虫の森費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意						
関連例規	胎内市昆虫の家条例			関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	昆虫に関する資料の展示と解説のほか、昆虫に関する学習指導や企画展、体験教室等を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展の開催 ・企画展の開催 ・ふれあい体験の実施 ・昆虫教室の実施
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、コロナ禍後の観光客の行動様式の変化やPR不足などが考えられる。また、令和6年度より目標値を1,000人増加させたが、この設定が適切ではなかった可能性がある。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	11,947	11,830	11,489	14,310	
単位コスト	算出方法 ①利用者一人当たりのコスト（総事業費+人件費/利用者数） ②利用者一人当たりの収支（事業収入-（総事業費+人件費）/利用者数）				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	900.9円	①1016.72円 ②-651.39円	①920.01円 ②-549.26円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	226日	226日	226日	226日	
	実績	226日	225日	224日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	20,000人	20,000人	21,000人	21,000人	
	実績	17,289人	15,202人	16,428人		
	目標比	86.4%	76.01%	78.2%		

6 事業の課題

施設や機器の老朽化、専門員の一人体制による展示の改修やPRの不足といった課題がある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②	②		

課題解決に向けた今後の取組

展示のリニューアルやバリアフリー対応の工事を、可能であれば実施し、専門員を増員することで、より魅力的な展示ができるようにする。

8 二次評価委員会所見

改善等事業計画を作成し、効果的に事業推進を行うこと。

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150116		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	市民講座学級事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習		予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習			01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供			06	社会教育費
					16	市民講座学級事業			04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意							
関連例規				関連計画	胎内市教育振興基本計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が新しい知識と教養を深め、また交流をはかることを目的として高齢者大学を通年開催するほか、食に関する興味、関心を高めるため、マナビップ講座を開催する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学の開催 ・マナビップ講座の開催 ・日本語講座の開催
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	590	824	848	1,294	
単位コスト	算出方法 高齢者大学学生1人あたりのコスト 事業費（一般財源）÷人件費／延べ参加者数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	2,590円	2,537円	1,020円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	
	目標	4地区	4地区	4地区	4地区	
	実績	4地区	4地区	4地区		
成果指標	名称	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	
	目標	1,450人	1,450人	1,000人	1,000人	
	実績	632人	815人	831人		
	目標比	43.5%	56.2%	83.1%		

6 事業の課題

ニーズが変化してきているという課題がある。しかしながら、本事業の必要性、重要性は不変である。

7 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③	③	③		
課題解決に向けた今後の取組 成果指標を見直し、本事業の成果の実相の見える化に努めていく。					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150117		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	図書館管理事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習			中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
					小	17	図書館管理事業		06	図書館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令	図書館法、図書館法施行令、図書館法施行規則				
関連例規	胎内市図書館条例			関連計画	胎内市教育振興基本計画、胎内市子ども読書推進計画					
	法令による義務付け		任意							

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	図書館を運営し市民に図書資料や情報等の提供と学習の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 利用者調査、学習支援 学校図書室の環境整備、読書指導 子ども読書活動の推進
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、入館者数の落ち込みが考えられる。ニーズの変化が生じている可能性もある。入館者のうち、特に10代から20代の減少が顕著な状況である。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	22,823	22,711	24,935	27,265	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

産出指標	名称	年度末蔵書数	年度末蔵書数	年度末蔵書数	年度末蔵書数	年度末蔵書数
	目標	75,000冊	75,000冊	75,000冊	75,000冊	75,000冊
	実績	88,258冊	90,472冊	90,248冊		
成果指標	名称	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数
	目標	70,000冊	70,000冊	70,000冊	70,000冊	70,000冊
	実績	55,365冊	56,748冊	55,675冊		
	目標比	79.1%	81.06%	79.5%		

6 事業の課題

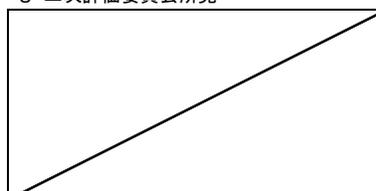
ニーズが変化してきているという課題がある。しかしながら、本事業の必要性、重要性は不変である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組
 成果指標を見直し、本事業の成果の実相の見える化に努めていくことで、前掲の今後の方向性につなげていく。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性			
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150118		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	環境改善センター管理運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習		予算科目 款項 目	
主要施策	5	生涯学習			01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供			06 農林水産業費
					18	環境改善センター管理運営事業			01 農業費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連計画				
関連例規	胎内市築地農村環境改善センター条例、胎内市役所諸証明交付所条例				胎内市教育振興基本計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営 ・諸証明交付 ・公民館事業の企画 ・図書の本出し ・地域住民の交流活動の場の提供
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	6,419	5,361	7,632	6,515	
単位コスト	算出方法 総事業費÷施設・図書利用者及び窓口利用者数（成果指標の実績） ※施設改修工事費を除く ※令和6年度は人件費を含まない				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	1,071円	820円	300円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	243日	243日	243日	243日	
	実績	263日	288日	272日		
成果指標	名称	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	
	目標	8,000人	8,000人	6,500人	6,500人	
	実績	5,988人	6,519人	8,261人		
	目標比	74.8%	81.4%	127.1%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150119		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	一般経費中央公民館			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習	予算科目	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習			01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費	
					19	一般経費中央公民館		04	公民館費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令		社会教育法			
関連例規	胎内市公民館条例			関連計画	胎内市教育振興基本計画					
	法令による義務付け				任意					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	学習と仲間作りの拠点施設として学習者、活動者にとって利用しやすい場を提供する。また、主催事業の開催や、社会教育団体への支援を通じて、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 公民館事業の企画 施設の管理運営 社会教育団体に対する支援、育成
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					
/					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	8,503	8,899	8,978	10,267	
単位コスト	算出方法 利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）÷ 利用者数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	656円	633円	528円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	359日	359日	359日	359日	
	実績	359日	360日	359日		
成果指標	名称	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	
	目標	24,000人	24,000人	20,000人	20,000人	
	実績	15,776人	17,015人	16,982人		
	目標比	65.7%	70.9%	84.91%		

6 事業の課題

ニーズが変化してきているという課題がある。しかしながら、本事業の必要性、重要性は不変である。
--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		
課題解決に向けた今後の取組 成果指標を見直し、本事業の成果の実相の見える化に努めていくことで、前掲の今後の方向性につなげていく。					

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150120		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	一般経費黒川地区公民館			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習		予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習			01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供			06	社会教育費
					20	一般経費黒川地区公民館			04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	社会教育法				
	法令による義務付け		任意		関連計画	胎内市教育振興基本計画				
関連例規	胎内市公民館条例、胎内市就業改善センター条例									

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯学習を通じて教養を深めるとともに市民に交流を促進する場を提供する。また、地区公民館の企画実施、施設の維持管理と環境整備、利用に関する受付、貸館業務、図書貸出業務、社会教育団体への支援を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 公民館事業の企画 図書の貸し出し 地域住民の交流活動の場の提供
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	11,076	11,902	10,319	11,449	
単位コスト	算出方法 総事業費÷黒川地区公民館利用者数（成果指標の実績） ※施設改修工事費を除く ※令和6年度は人件費を含まない				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	1,740円	1,950円	608円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	359日	359日	359日	359日	
	実績	359日	360日	358日		
成果指標	名称	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	
	目標	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人	
	実績	8,393人	7,917人	8,076人		
	目標比	93.3%	88.0%	89.7%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150121		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	乙地区交流施設管理運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
			小		21	乙地区交流施設管理運営事業		13	乙地区交流施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
関連例規	胎内市乙地区交流施設条例			胎内市教育振興基本計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 諸証明交付 公民館事業の企画 図書の出出し 地域住民の交流活動の場の提供
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					
------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	5,117	5,486	5,828	6,830	
単位コスト	算出方法 利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）÷人件費/利用者数 ※令和6年度は人件費を含まない				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	861	929	304円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	243日	243日	243日	243日	
	実績	287日	288日	269日		
成果指標	名称	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	
	実績	7,981人	8,876人	10,045人		
	目標比	99.8%	111%	125.6%		

6 事業の課題

事業の課題					
-------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		
課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150210		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	社会教育振興事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	15	生涯学習		予算科目 款 項 目		
主要施策	5	生涯学習			02	市民による自主的な活動の育成・支援			10	教育費
					10	社会教育振興事業			06	社会教育費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令		社会教育法			
関連例規	胎内市社会教育委員条例ほか			関連計画		胎内市教育振興基本計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会教育委員の委嘱により、市民のニーズに沿った社会教育関係事業の企画や有効性の検討、また、社会教育関係団体の支援により生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会の開催 社会教育関係事業等の検討、助言、調査研究
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	○		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	674	723	499	666	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数
	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	3回	3回	3回		
成果指標	名称	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数
	目標	44団体	44団体	44団体	44団体	44団体
	実績	39団体	37団体	37団体		
	目標比	88.6%	84.1%	84.1%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150211		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	公民館文化振興事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中		02	市民による自主的な活動の育成・支援		06	社会教育費
			小		11	公民館文化振興事業		04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
関連例規	法令による義務付け		任意		関連計画		胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が文化・芸術活動を発表する機会や親しむ機会を提供することにより、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	・美術展覧会の開催 ・ジュニア美術展覧会の開催
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
/					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	1,629	1,716	1,672	1,929	
単位コスト	算出方法 来場者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）÷来場者数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	663円	632円	547円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	
	目標	4日間	4日間	4日間	4日間	
	実績	4日	4日間	4日間		
成果指標	名称	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	
	目標	2,100人	2,100人	2,500人	2,500人	
	実績	2,588人	2,858人	3,052人		
	目標比	123.2%	136.0%	122.1%		

6 事業の課題

ニーズが変化してきているという課題がある。しかしながら、本事業の必要性、重要性は不変である。
--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組
県展について、当市が積極的に行う理由の有無を検証し、定住自立圏での取組の可能性を検討することで、業務の選択と集中につなげるとともに、前掲の今後の方向性につなげていく。

8 二次評価委員会所見

/					
---	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	150212		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	生涯学習フェスティバル事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	10	教育費	
主要施策	5	生涯学習			中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		06	社会教育費
					小	12	生涯学習フェスティバル事業		02	生涯学習推進費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
関連例規	法令による義務付け		任意		関連計画		胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	11月を「生涯学習強調月間」として、市民の日々の生涯学習の成果を発表する場を提供するとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	・市内各施設でのイベントの開催
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）		317	299	308	448	
単位コスト	算出方法	来場者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）÷来場者数				
	実績			123円		

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数
	目標	10日間	10日間	10日間	10日間	10日間
	実績	22日間	23日	20日間		
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人
	実績	1,671人	3,284人	2,488人		
	目標比	23.9%	46.9%	35.5%		

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	×	×		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、各種媒体を通じた周知にもかかわらず、来館者数が増加しなかったことが考えられる。ニーズの変化が生じている可能性もある。

6 事業の課題

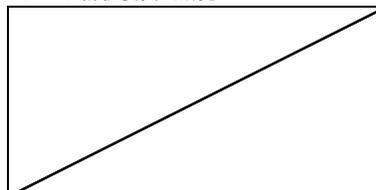
ニーズが変化してきているという課題がある。しかしながら、生涯学習活動の必要性、重要性は不変である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	②	③		

課題解決に向けた今後の取組
生涯学習活動の必要性、重要性は不変であると考えられることから、各団体やサークルの活動について各種媒体を通じた周知に取り組み、前掲の今後の方向性につなげていく。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	④	
	縮小	×	⑥	④	⑤	
	休廃止	⑦	×	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				